令和２年度　第１回大阪府立図書館指定管理者評価委員会議事概要

日　　時：令和２年９月１５日（火）１５時３０分から１７時まで

場　　所：大阪府　新別館南館８階　大研修室

出席委員：来庁：明定委員長、Ｗｅｂ：江本委員、難波委員、日野委員

１　開　　会

２　あいさつ

３　議　　事（質疑要旨）

　府立図書館の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び現在の施設運営状況について

　○事務局から、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び現在の施設運営状況について報告

〈質疑応答〉

　委員：図書館の運営は、府の自粛要請に連動してこれからもやっていくということでよいのか。

　　　　　何か独自の基準があるのか。もしくはデータとしてはこの通りであるが、図書館としての意向を踏まえて決定するという考え方があってもよいと思うが。

事務局：自粛要請については府のコロナウイルス感染症対策本部の取り決めに基づき、これまでも休館あるいは開館、イベントの中止などを決めてきた。現在もイエローステージ１ということで、図書館において様々な感染症対策、入館についても席を半分にするなどといった形で、基本的には府の定めた流れに沿って運営しているところ。これからも基本的には府の対策本部の流れに従って判断していく。

　委員：今回のガイドラインの説明と現在の施設の運営状況について説明のうえ、評価・審議するとのことだが、今までにないことの中で、どんな感じで評価を議論したらいいのか、どんな議論を府として想定されているのか方向性を教えてほしい。

事務局：府で指定管理者制度を導入している施設のうち、９つの状況を確認したところ、ほとんどの施設が従来通りの考え方に基づく評価の基準を設定し、そのうえで、今後のコロナウイルス感染症の状況などを鑑みて、次回行われる第２回の委員会においてその状況を勘案してその数値について評価することとしている。府立図書館としても同様な形で基準の設定と評価をさせていただきたいと考えている。

令和２年度大阪府立中之島図書館及び中央図書館指定管理運営業務の評価票について

　　○事務局から、令和２年度指定管理業務評価票及び

令和元年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等について説明

　　〈質疑応答〉

委員：資料５の４番の辺りについて、中央図書館では提案書の数値がないものは一番高い実績値を目標にしているが、中之島図書館は平均を目標としている理由と、平均をとる場合にしても、平成３０年、令和元年の平均で、もっとさかのぼらない理由はなぜなのか。

事務局：中之島図書館については、今回コロナウイルス感染症の拡大の関係があり、過年度の基準をそのまま適用し、直近２年間の平均値としたもの。中央図書館については、今期から２期目になったことから、実績に関わらず提案書の目標数値をそのまま基準とし、提案書に数値の無い項目については、提案の段階で過年度の状況が考慮されているものと考え、過去実績の最高値で設定することとした。

委員：中之島は目標値が実績と大きくずれていたので、長い期間の平均を取ると現実に合わないということがあり、一方で、中央については、駐車場については色々問題があったとは思うが、実績が目標と大きく離れていないので実績平均にしたのではなかったかと思うが、いかがか。

事務局：中之島では、年度ごとの実績の乖離が大きかったという事実があったので、平均をとることとした。

最大値をとらなかったのは、数字が突発的何らかの要因で大きくなったのか、異常値かどうかの見極めができないため平均とした。昨年度ももう少し大きい数字でと言われたが、引き続きコロナウイルス対策の関係で基準値の設定、特に令和元年度は３月部分の実績が下がったこともあり、設定が難しいため、昨年度同様過去２年の評価をとることとした。

委員：今、コロナウイルス感染症拡大の状況であるので、特殊事情ということは明記しておいたほうがよい。

　　　　　　あと、中之島の入館者数でいくと、コロナの関係ない平成30年まででも下がっていっている中で平均をとるのが果たして目標設定の仕方としてよいのか。

　　　　　　事業の開催の回数や来館者数は、コロナ禍の状況下なので、普通の基準にできないかもしれないが、ホームページの更新やＳＮＳの関係はコロナに関係なくできることであると思うので、考慮してもいいのでは。特別な事情で直近２年の平均にしたという理由がそもそも当てはまらないのではないか。

　　　若干悩ましいのが多目的スペースの稼働率。市民の方々が何かされる、活動されることで利用してもらうので、利用の仕方を考えることによって稼働率を維持できたりする部分があると思う。そここそ民間の創意工夫、いいアイデアでこのコロナの状況を乗り越えてもらいたいという希望もあるので、もう少し違う設定の仕方をしてもよいかと少し思う。

事務局：頂戴した意見について、検討させていただきたい。

委員：あと、今回のコロナの関係でどれくらい休館するかよめないので、例えば目標値の設定の仕方を年ベースにするのではなく、月平均、稼働している月などで出せば、あるいは実績値を開いている日数で割り戻すなど、通常の年度と比較しやすいような形にすると良いのではないか。開いていてもコロナの影響で外出したくない方は非常に多いと思うので、当然下がるとは思うが、実際に開けている日数で割り戻すのが多分一番比較を簡単にしやすいと思う。

事務局：今現在は開館しており、特段コロナで休館していないので、そういうことがあった時はそういうことも考えてはということでよいか。

委員：今後そういう場合が想定され、今年度の成績でいくと４月５月辺りは休館していたので、そこの部分を正確に捉えるために割り戻すのというのがどうか。今後、冬場などにもし休館せざるを得ない状況になれば、その部分は割り戻してみてはどうか。

計４か月図書館を閉めたら、１２分の８か月しか開いていないので、８分の１２したら年フルで開いていたような形になるので、今年の実績値を例年との比較がしやすい。そこまで正確ではないが、参考値としてはあった方がよいと思う。

事務局：今後も休館などがないとは限らないので、第２回の評価の際には、本来の過年度あった数値、実際に年度の実績を示す時には休館日を差し引いた形での参考数値も示す。

委員：中之島の数値の取り方、平均についての評価への疑問が一つ出た。コロナ禍における設定であることを一つ入れる。それから、賑わいというところでは、もう少し積極的なところを加味する、観点としていれるという意見。そして、コロナウイルス感染症の影響についても、休館については、実績の記載に反映して比較しやすくする、という意見があった。本日の意見について、事務局で検討して表現その他についてはまとめていただいて、委員長の確認を経たうえで、各委員に報告するという形でよいか。

　　　　　委員：【異議なし】

４　閉　会